



道徳だより

6



5 / 18 (火)

「助け合い傘」の授業から

「多くの人に支えられて自分が生きていることが分かり、それに感謝し、応えようとする。」というねらいで授業を行いました。自分たちの生活を支えている人について話し合い、支えてくれている周囲の人への感謝について考えました。

「みんなのために」という思いから地域でつなげてきた助け合い傘の活動に対して共感する子どもたちも多く、自分たちの生活の中にも地域で支えてくれている人がたくさんいることに気付きました。みんなのために活動している人の思いと自分にできることを考え、発表し合うことで、それぞれの思いを膨らませることができました。



☆子どもたちのワークシートから☆
「自分にはどんなことができるか」を今までの自分をふり返りながら考えました。

② 自分には、どんなことができるか。
ごみがおそろいたらひろう
あいさつ (思がえし)
こまている人かいたらたすける(手伝い)

② 自分には、どんなことができるか。
ルールを守って行動する。

② 自分には、どんなことができるか。
ボランティアの人にあいさつしたり、感謝の言葉を伝える。

② 自分には、どんなことができるか。
みんなが気持ちよく楽しく生活できるように、学校では、お手伝いやいんかいや、かき、とうはんのしごとを積極的もつとやる。家では、お手伝いやまかにしたじともし、かきやる。その他でも、あいさつをしたり、みんなに思がえしができるようにする。

② 自分には、どんなことができるか。
あいさつをして、気持ちを返す。
ありがとう、という言葉をこめて言う。

② 自分には、どんなことができるか。
少しづつ、身の回りの人を助けられたら、いいなと思ひます。
自分1人でできることは、色々な人にも、助けてあげたい。
あいさつを返す気持ちを返す
ごみをひろう
活動のお手伝い

思いやり
感謝

